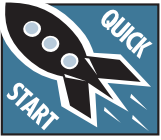


## 接続例



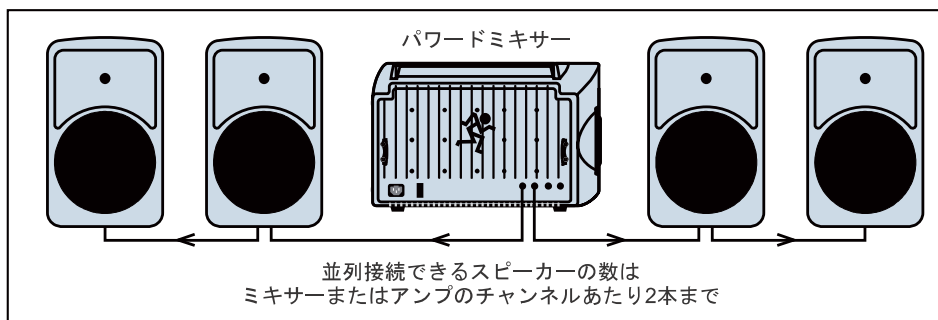
### クイックスタート

スピーカーをアンプに接続するときは、あらかじめすべての機器の電源を必ず切ってください。マスター・ボリューム・レベル、レベル、ゲインノブはすべて下げきってください。

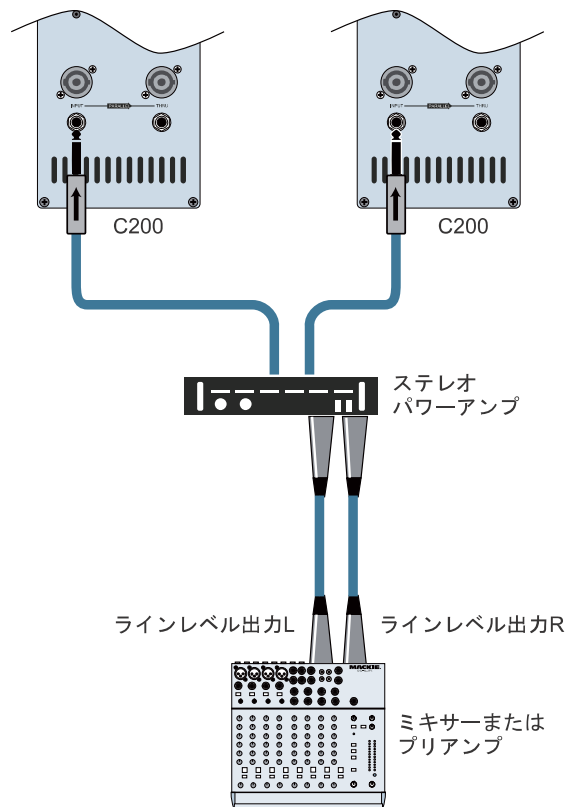
- 1, ミキシングコンソール（または他のシグナルソース）から、ラインレベルの出力をパワーアンプに接続してください。
- 2, パワーアンプ（またはパワードミキサー）の「スピーカー出力」をC200の1/4TSまたはNL4どちらかの

INPUTジャックに接続してください。

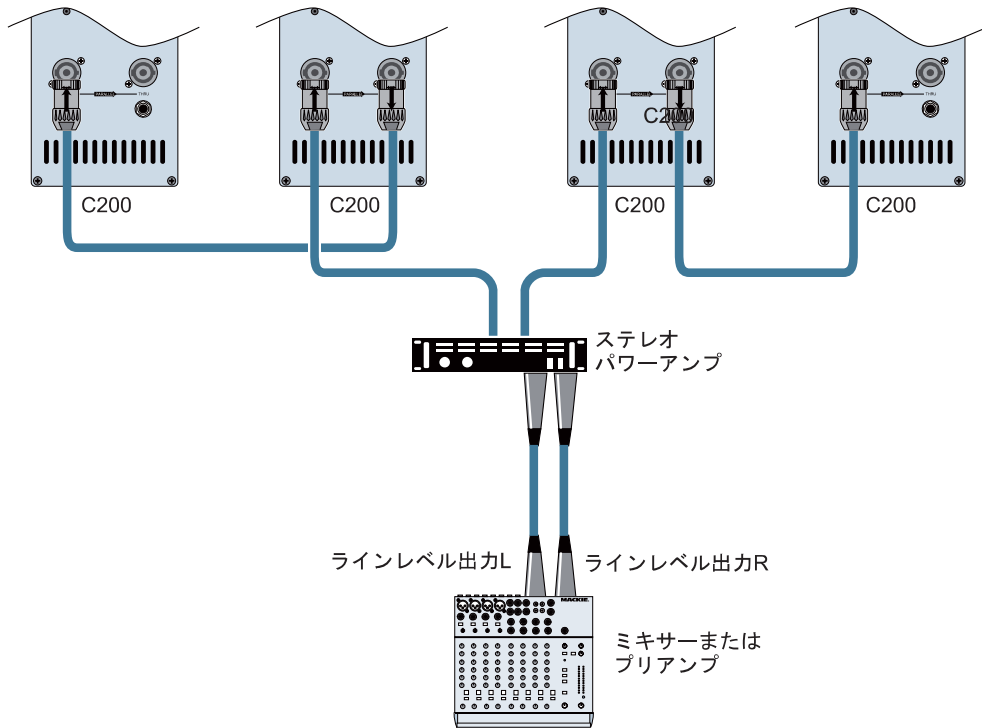
- 3, ミキシングコンソール（または他のシグナルソース）の電源を入れてください。
- 4, パワーアンプの電源を入れます。アンプメーカーが推奨する通りに、ボリュームまたはゲインノブを上げてください。
- 5, マイクに向かってしゃべったりCDプレイヤーを再生するなど、シグナルソースを流します。通常動作するようにミキサー（または他のシグナルソース）のボリュームを調整してください。



### C200: パワードミキサーに接続し、THRUジャックを使う場合



### C200: ミキサーとパワーアンプを使う場合

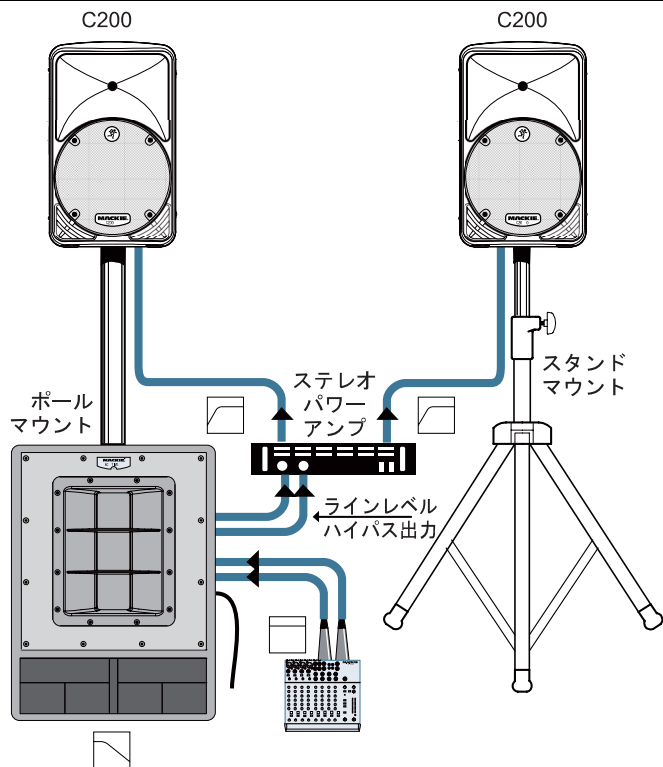


C200: ミキサーとパワーアンプに接続し、THRUジャックを使う場合

C200をMackieのサブウーファーSWA1501（またはSWA1801）と一緒に使えば、信じられないほどパワフルなシステムが完成します。

サブウーファーに内蔵されているアクティブクロスオーバーで、フルレンジのステレオ入力を2つの帯域に分割します。SWA1501は低域のLとRをサミングして、内蔵アンプを通して15インチウーファーで再生します。SWA1501でハイパスされたステレオの帯域は、外部パワーアンプを通してC200に送られます。

C200は図のように、SWA1501または1801の上にポールマウントすることができます。



C200: パワードサブウーファーとバイアンプにする場合